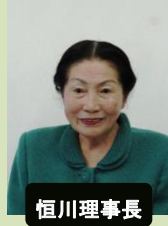


NPO 緑の会

特定非営利
活動法人
NPO緑の会
取手市小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791

NPO緑の会 第11回通常総会を開催

第11回通常総会は5月28日(土)取手市「かたらいの郷」で開催され、藤井市長の激励メッセージが読み上げられた後、平成23年度活動方針等が審議され採択されました。



恒川理事長

総会終了後には、U-ネット運営副委員長の吉澤さんから奥様がくも膜下出血によるかなり危険な状態から、EMX・GOLDをはじめEM資材を使って見違えるように回復された様子が報告され、皆さん熱心に聞き入っていました。

また、東日本大震災は未曾有の災害をもたらしていますが、これへの対策に関する「比嘉教授の緊急メッセージ・ビデオレター」の上映があり、被災地におけるEM活用の仕方などが詳しく説明されていました。

平成22年度の 主な事業報告の概要

1. 生ごみ堆肥化事業

①平成22年8月、藤代南地区と光風台地区の生ごみ回収がスタートした。藤代南地区は杉田町会長のご尽力、光風台地区は会員の熱意と協力により実現した。

②生ごみ回収の世帯数は1695軒、年間の回収量は116トンであった。

③生ごみ堆肥をペレット化するペレット機を導入した。

④協力世帯への堆肥の配布、EMだんご・ボカシづくりなど会員の協力で順調に進んだ。

2. 水質浄化事業

①石岡市から東の辻池、上谷

原池の浄化を受託して活動した(7年の継続)。

②U-ネットや名橋「日本橋」

保存会、日本橋川・神田川の清流をよみがえらせる会などに、日本橋川の浄化のためEMだんご製造・投入などで積極的に協力した。

3. 自主活動

①藤代公民館のトイレ臭気対策に、会員の協力でEM活性液を10月から毎月定期的に投入した。

②会員それぞれが米のとぎ汁活性液を活用して自宅周辺の浄化を行った。

③5月から10月の第2・第4火曜日と毎月の定例会後にEMだんご作り、堆肥の袋詰めな

ど会員の協力で実施した。



吉澤さんの報告

4. その他の活動

①4月17日に石岡市民会館で開催された「善循環の輪茨城の集い in 石岡」では、準備から開催までNPO緑の会も積極的に取組み600名強の参加を得て盛況のうちに終了した。

②ヤーコンの販売と普及活動に努めた。

③会報を23号まで発行した。

④取手市議会へ提出された「生ごみ堆肥化に関する請願」により、4月に参考人として呼ばれて説明の機会を与えられて以来、関係の市議さん等と北海道三笠市の乾燥方式による生ごみプラントを視察しました。その後、同市議さん等と勉強会を開催するなど、請願のお陰で生ごみ堆肥化事業をさらに進展させるきっかけができた。

平成23年度の 主な事業計画の概要

1. 生ごみ堆肥化事業

①乾燥方式を目指して、堆肥化技術の研究・開発を進める。

②新規拡大の予定地区はないが、参加者のフォローを行う。

③石岡市からの受託事業「東野辻池、上谷原池の浄化活動」を行う。

④霞ヶ浦をきれいにする会に積極的に参加し活動を行う。

⑤会員による自宅周辺の生活排水の浄化に取り組む。

⑥東日本大震災復興支援活動資材の提供、運搬など積極的に支援活動を行う。

⑦調査・研究・各種研修会への参加、他グループとの情報交換など循環型社会の実現に向けて積極的な活動を行う。

⑧定例会後の時間等を利用して、野菜の販売会を実施する。

⑨収益事業ア・ヤーコン茶の新規販路を開拓する。

⑩米ぬかを主体にした入浴剤を開発する。



総会の様子

東日本大震災への 救援活動

被災各地ではU-ネットの仲間たちが、懸命の支援活動を続けています。NPO緑の会もいつまでもどこへでも支援に駆けつける意思を表明しています。が、すでに次のような支援活動を実施しています。

●4月19日、岩手県NPO U-ネット岩手、高橋比奈子方へEMボカシ300kgを発送

●宮城県NPO地球環境保全ネット平野勝洋方へEMボカシ200kgを発送

●5月11日、福島県いわき市金山町「EMの広場」代表遠藤政喜方へEM活性液1トンを運ぶ

●5月13日EM研究機構の依頼で福島県飯館村の農家にEM活性液1トンを運ぶ

これは、放射線に汚染された畑をEMで除染する実験に使用されるものです。



飯館村に運ばれたEM活性液1トンタンク

会員有志の自主活動 藤代公民館トイレの臭気対策に取り組む

藤代南地区の萩原区長さんから藤代公民館トイレが臭うので何とかしたいとの話があり、この要請を受けて、会員有志の植田さん、神郡さん、石丸さんの三人が館長の許可を得て昨年10月から週2回EM活性液を届けている。そして公民館清掃ご担当の大熊さんと斉藤さんが毎日の清掃時に散布して頂いている。



藤代公民館

- ① 藤代公民館（築31年）トイレ数
 - 1階 男子 大3、小4 女子 大4
 - 2階 男子 大4、小6 女子 大4
- ② 活動内容
 - EM活性液（500倍に希釈したもの）週2回届ける
 - リーダー 植田
 - 火曜日担当 神郡 120
 - 金曜日担当 石丸 160

③ 使い方
清掃担当者2名が一日に活性液4ℓを便器に流し、噴霧も行う。祭日と月末以外の毎日清掃。



トイレにEM活性液散布の様子

④ 結果 多数の職員の方が以前はひどかった臭いが大分なくなつたと言われている。また、いつもではないが館内に入ってすぐ感じた独特の臭いもほとんどなくなつた。清掃ご担当のお二人が協力していただき、毎日使い続けたのだと思う。しかし2階女子トイレは窓が一つもない構造のためか、なかなか臭いがとれていない。（現在清掃ご担当のお二人はご家庭でもボカシや活性液を家庭菜園で使っておられるとのこと。）



健康座談会の様子

田中佳医師をお迎えして健康座談会を開催

東日本大震災の影響で延期されていた健康座談会は、(株)EM生活のお取り計らいで改めて5月16日に取手市福祉交流センターで行われました。講師には医療法人照甞会の田中佳医師と植村加奈子コディネーター、それに世話役の(株)鈴木智氏をお迎えして、参加者は22名でした。

本年5月より活性液「原液3ℓ」を月1回届ける。希釈するのは清掃ご担当が行う。また、調理室の配管がいつも詰まってしまう定期的な業者に配管清掃を頼んでいることから、新たにシンク排水口にも活性液を毎日職員の方に流していただくことになった。



出店の様子

野田病院の健康まつりに参加

4月29日(木)第18回野田病院健康まつりが開催され、N

最初に40分ほどDVDを交えた田中先生の講演があり、その後2時間ほど熱心な質疑が交わされました。震災直後で原発事故もありましたので、放射線被曝に関する質問の他、色んな病状に関する質問やEM飲料の飲み方等についての質問などがあり、皆さん真剣に聞き入っていました。この質疑の内容は、田中佳医師のブログに詳しく掲載されており、ですので、そちらをご覧ください。ブログのURLは下記のとおりです。

<http://ameblo.jp/emkanayoshi/theme-10033135019.html>

編集後記 6月12日NHKスペシャルで、長寿を可能にする「サーチュイン遺伝子」が発見されたことを放映。通常はこの遺伝子はスイッチがOFFになっているの、どうすればONにできるのか？その答えは「腹八分目」の食事。これを実行すれば平均年齢100歳も可能という。皆さんの日頃の食事は「腹八分目」ですか。 KF



とぎ汁発酵液教室



EMだんごつくりの実演

P.O.緑の会も例年どおりEM商品を出品して参加しました。まつりは、オープニングのピアノ演奏や金本院長の講話などがあり、内科・外科ドクターによる健康相談や脳波測定や骨密度測定などが無料で実施され、会員も出店の合間をぬって測定等を受けていました。